

# 名古屋市は鉄道高架を進めている。

名古屋市は、近鉄、J Rとも線路の高架化を進め、その延長は蟹江町に近づいていますが、残念ながら蟹江町内まではつながりません。市と町の境界線で断ち切られるのです。蟹江町が名古屋市の一部であれば、将来的には高架になるでしょうが、蟹江町のままでは、町には財力がなく単独では高架事業はできないのです。

# 蟹江町のままでは、永久に高架はできない。

にもかかわらず、蟹江町は、現在J R蟹江駅に約30億円の豪華な駅舎を建設しようとしています。

(町負担 約24億5000万円)

駅北の区画整理事業に着手した時点では、この区画整理事業が完成した時には、北改札口はできるという前提で駅前ロータリーができました。しかし、立派なロータリーができて、北改札口はできず、ロータリーは利用できていません。その批判を受けて、今回駅舎の建設が計画されましたが、駅舎の建設だけでは、現在、町が抱えている東郊線や今須成線など、踏切や道路の問題が解決できないのです。北改札口の問題と踏切の問題とを併せて解決するには、鉄道を高架にするしかないのですが、町に財力がないうえに、それができず、駅舎建設だけして、問題を残したままにする、という、まったくチグハグな都市計画しかできないのが蟹江町の現状ではないでしょうか。

名古屋市との合併を目指す、「チーム t o 名古屋」のメンバーは、何としても、名古屋市との合併が必要だと考えています。



# 北改札口の整備は、他の方法で。

J R蟹江駅の北側に住む方々は、駅北に改札口を造って欲しいという要望を、かなり以前から持っていますが、豪華な駅舎建設ではなく、もっと負担の少ない、他の方法で解決していくべきではないでしょうか。